SAITAMA RENEWAL PARTY
THE FRONT
【刷新の会フロント】地域が最前線!
2012 summer

こんにちは、埼玉県議会 刷新の会です。

埼玉県議会議員は、現在93名おります。私たちはその中の無所属議員を中心に構成された会派「刷新の会」のメンバーです。2007年に4人から始まった我が会派も昨年4月の県議選を経て、現在では合計9名の第3会派となりました。

刷新の会は、我が国および地域の歴史・伝統・文化を尊び、県民本位の立場で大胆に県政を刷新することを基本理念としています。それにもとづく政策の実現を図ることを目的に活動してまいります。

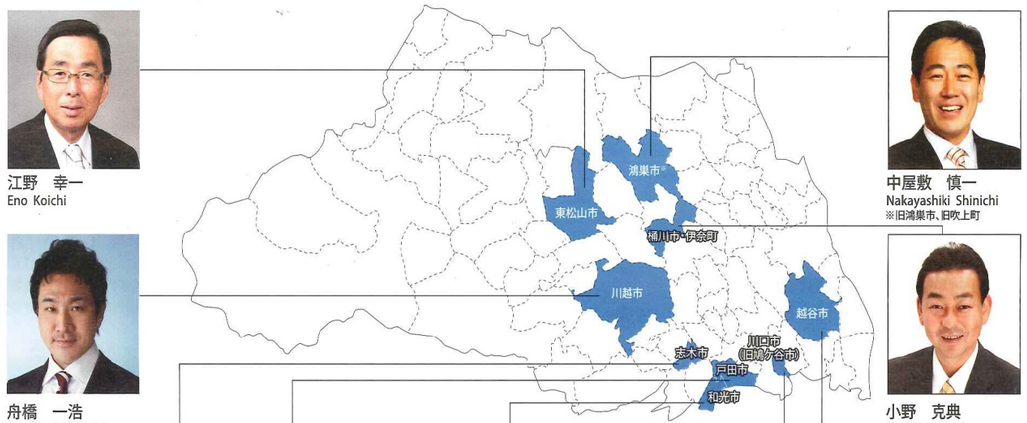
結成から5年 新たなる飛躍へ、会派ロゴ・スローガンが出来ました!

刷新の会では、新たに「会派ロゴ」と「会派スローガン」を作りました。会派ロゴは、刷新の会の「刷」の漢字を表しており、埼玉県のシンボルである「勾玉(まがたま)」と「みどりと川」をイメージしたデザインとなっています。

会派スローガン「地域が最前線!」は、県議会議員として県全般の課題に取り組むと共に、それぞれの地域を最前線として活動する私達の姿勢を言葉に込めました。

SAITAMA RENEWAL PARTY
埼玉県議会 刷新の会
〈会派ロゴ〉

地域が最前線! Saitama
〈会派スローガンロゴ〉



江野 幸一
Eno Koichi

中屋敷 慎一
Nakayashiki Shinichi
※旧鴻巣市、旧吹上町

舟橋 一浩
Funabashi Kazuhiro

小野 克典
Ono Katsunori

鈴木 正人
Suzuki Masato

菅原 文仁
Sugawara Fumihito

井上 航
Inoue Wataru

石田 昇
Ishida Noboru

藤澤 慎也
Fujisawa Shinya

Saitama 埼玉

埼玉県の人口は約721万人(平成24年5月統計)、生産年齢人口(15~64歳)の割合が全国第3位で、平均年齢が「全国で5番目に若い県」と言われています。県が所管する事業には、県道や河川、浄水場管理、警察、県立高校の運営などがあります。その他、市立の小・中学校の教職員採用も県が所管しています。

SAITAMA RENEWAL PARTY THE FRONT 2012 summer

県政レポート 2012 suzuki masato No.73 特別号
埼玉県議会議員
鈴木正人
ホームページ http://www.trans.ne.jp/masato/

埼玉県議会 刷新の会 特集号

鈴木正人は埼玉県議会「刷新の会」代表として活躍 産経新聞

やわらかまじめ新聞

鈴木正人の行動や発言が新聞で報道される

No.73 特別号
発行者 刷新の会
県議会議員鈴木正人
〒353-0004 志木市本町 5-4-34
TEL048-476-7525
FAX048-476-7526

6月定例会閉会

平成24年度6月定例会は7月6日に最終日を迎え、県立特別支援学校1校の設置、県立高等学校5校の統合及び名称変更するための改正である「埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例」など知事提出議案14件、議員提出議案1件が可決成立しました。

また、「尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書」など意見書5件、「改正教育基本法の目標を達成するため、最も適した高校歴史教科書の採択を求める請願書」1件が採択され、閉会いたしました。

尖閣諸島漁業調査参加の鈴木正人県議

尖閣諸島周辺の漁業調査活動に参加した鈴木正人県議(中央)=10日、沖縄・尖閣諸島沖(鈴木県議提供)

「間違いなく日本の領土」

東京都の石原慎太郎知事が都による購入を表明した沖縄・尖閣諸島。石原知事は11日に参考人招致された衆院決算行政監視委員会で、国会議員による視察を訴えた。これに先立つ9~10日、国旗を掲げた14隻の船団が、尖閣諸島周辺で漁業調査活動を敢行した。民間団体「頑張れ日本!全国行動委員会」の8回目の活動で、参加人数は過去最多の220人に上った。この活動に参加した鈴木正人県議(刷新の会代表)に、現地で感じたことについて聞いた。(安岡一成)

―参加のきっかけは

「領土問題には以前から関心があり、今回は議会の日程も重なっていなかったので参加した。今回は海外の報道機関も多数参加しており、世界にもアピールできたのでは」

―現地までの道のりは

「9日午後9時45分に石垣島の港を出航し、約170キロを10時間(時速約18キロ)で進んだ。島が見えたのは8時間後の10日午前5時45分ごろ。揺れが激しく、ほとんど眠れなかった。距離がある上に波も高いので、漁師さんもあまりこないようだ」

―現地ではどんな活動を

「私たちは『漁師見習い』という身分で参加したので、釣りをした。糸を垂らすと、すぐに赤い魚が釣れた。漁師さんは一本釣りで1キロくらいのイソマグロや大きなアジなどを釣っていた。潜ったカスミアンは魚の種類の多さに驚いていた。近くで台湾の漁船を見かけたが、領海侵犯ではなかったようだ」

―現地で感じたことは

「昭和15年までは日本人が住んでおり、石垣など生活の跡があった。小さな灯台もあったし、岩肌に日の丸が描かれているのも確認した。『ここは間違いなく日本の領土なんだ』という熱い思いがこみ上げた」

―さいたま市議会では、自民党が「石原知事の購入計画を支持する決議案」を議会に提出しようとしている。しかし、他党から「石原知事を支持」がダメで、「国に国有化を求める」ならOKと修正を求められているそうだが

「今ごろになって『国有化すべきだ』などと偉そうなことを言っているが、仮に国有化しても、これまでのように放置されるのなら、いつ竹島のように他国に実効支配されるか分からない。だから、現地調査に前向きな東京都が買うことに大きな意義があり、石原知事の決断を支持することに意味がある」

―県議会ではどう対応するか

「最大会派の自民党が決議案を用意していると聞いている。ただ、刷新の会では国有化よりも東京都が購入することを支持する姿勢を明確にしたい」

―国有化は反対か

「まずは石原さんのような知事がいる東京都に購入してもらって、上陸、調査活動をするという既成事実を作った方がいい。国の出番はその後で、港湾の整備、自衛隊の駐留などをやってもらいたい」

国有化より東京都の購入を支持

デフレ脱却と耐震強化を

刷新の会
鈴木 正人(すずき まさと) 代表

―最後に刷新の会の鈴木代表にお願いします。

鈴木 長引く景気低迷の原因がデフレ経済にあることが、最近の経済分析でも明らかになってきています。

しかし、残念ながら日銀や現在の政府は、有効な金融政策や財政政策をとっていません。その一方、国や地方のいわゆる借金と呼ばれる地方債などの公債を減らそうと、埼玉県もさまざまな改革を進め、努力してきたと思います。

ところが、長期にわたってデフレ経済が続いたため、企業も新たな投資意欲が湧かずに、経済そのものが縮小し、20年間で家計所得が100万円も減ってしまいました。最近ではリーマンショックの影響もあって、さまざまな施策を展開しても、経済的に活力ある埼玉を生み出すことは、非常に困難な状況です。

私たち刷新の会は、県議会の場においては、質問や意見書案の提出などを通じて、また、それ以外の場においては、さまざまなツールを使って、国に対してデフレ脱却とお願いします。

鈴木 安易な公共事業悪玉論にはくみせず、昨年の東日本大震災の教訓から学び、近い将来必ず関東にも直下型の地震が来ると言われていますので、各公共施設、道路や橋脚の耐震強化を図っていくべきだと考えています。

さらに、普段は経済活動の動脈として、そして震災発生時には緊急車両が円滑に通れるように、幹線道路の整備を急がねばなりません。デフレ不況の現在は、緊縮財政にこだわらず、こうした積極的な施策を展開するように、県議会の場において求めてまいります。

現在の状況では、大規模地震への備えを進めることで、経済を上向かせて、それらを通じて活力ある埼玉を作っていくべきであると考えています。

埼玉新聞